

外国語活動 学習指導案

枚方市立殿山第二小学校

授業者 大塚 拓海

J T E 寺田 さゆり

1. 日 時 平成25年11月6日(水) 6校時 14:30 ~ 15:15

2. 学年・組 第5学年2組(男子 16名、女子 14名)

3. 単元名 Hi, friends! 1 Lesson 6 What do you want? アルファベットをさがそう

4. 単元の目標

- ・積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
- ・アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。

5. 単元について(教材観・指導観)

本教材は買い物等の日常生活でもよく使われる、「欲しいものを尋ねたり答えたりする」表現である。本時までにアルファベットを使い欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を学んできた。チャンツとして表現を学ぶだけでなく、班対抗のゲームやポイント獲得のゲームを行い“**What do you want?**”の表現に慣れ親しんできた。そのなかで「アルファベット」を取り上げるのは、文字を集めて単語を作る活動を行うことでアルファベットをより定着させる狙いがある。この活動は中学校での学習の単語を覚える学習につながる。また、文字を集めて単語を完成させる活動は「欲しいものを尋ねたり答えたりする」活動の達成感も高いと思われるので、児童達が意欲的に取り組むと考えられる。

本学級は男女とも、おとなしい児童が多い。そのため授業中に自由な感想や気持ちを言うのが苦手な児童も多く、「これについてどう思う？」の様な質問には反応が乏しい事がある。しかし音楽の合唱、まどめの音読など全員で取り組むことには一生懸命取り組んでいる。外国語活動でも、アルファベットの発音や“**How are you?**”チャンツでも大きな声を出している。カード集めのようなインタビュー活動も意欲的に参加出来ているので、本時も“**What do you want?**”での質問・応答の表現を通じて積極的にアルファベットに慣れ親しみさせたい。

6. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 (関)	外国語への慣れ親しみ(慣)	言語や文化に関する気付き(気)
自らアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。	アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。	身の回りにはアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。

7. 単元の指導計画 は、本時

	ねらい	主な学習活動 (●は評価する学習活動)	評価規準			評価方法
			関	慣	気	
1	身の回りには色々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を一致させる。	○Phonics ○ABC chant ●アルファベットさがし ○アルファベットならべ ○振り返り			●	【行動観察】 身の回りの色々なところに、アルファベットの大文字が使われていることに気付いている。
2	アルファベットの大文字とその読み方を一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。	○Phonics ○ABC chant ○“What do you want?” chant 1 ●チェンゲーム ○振り返り			●	【行動観察】 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知り、積極的に発言している。
3	欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	○Phonics ○ABC chant ○“What do you want?” chant 1 ○“What do you want?” chant 2 ●イニシャル集めゲーム ○振り返り			●	【行動観察】 友だちに欲しいものを尋ねたり答えたりして、積極的に交流しようとしている。
4	積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。	○Phonics ○ABC chant ○“What do you want?” chant 2 ●カード集めゲーム ○振り返り			●	【振り返りシート】 友だちと協力して、欲しいカードを集め、積極的に単語作りをしている。

8. 本時について

(1) 目標

カード集めゲームを通して、積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。

5. 振り返る。 ・振り返りシートに記入する。			
6. あいさつする。	See you.	See you.	

ご高評価欄